

会議録様式

附属機関等の 名称	杉戸町下水道事業審議会
会議名	令和7年度 第1回杉戸町下水道事業審議会
開催日時	令和7年10月9日（水）午前10:00～12:00
開催場所	杉戸町上下水道課 二階会議室
議題	(1) 委員委嘱 (2) 会長、副会長の選出について (3) 諮問 (4) 議事 ① 杉戸町下水道事業経営戦略の改定として、施設・設備投資及び財 源見通しの考え方について ② 社会資本総合整備計画（公共下水道整備事業）の事後評価につい て
公開・非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開（傍聴者 1人） （非公開の場合理由）
出席委員氏名	新井久孝委員、大坪安吉委員、川嶋忠雄委員、桜井政雄委員、高 野忠富委員、蓮沼弘行委員、引地量哉委員、堀江津喜子委員、松 本和也委員、間中健太郎委員
審議の概要	(1) 委員委嘱 委員 11 人が委嘱される (2) 会長・副会長の選出 会長 高野 忠富 委員が互選される。 副会長 川嶋 忠雄 委員が互選される。 (3) 諮問 門脇副町長より高野会長に諮問書が手交される。 (4) 議事 ①杉戸町公共下水道事業経営戦略の改定として、施設・設備施設・設備投資及び財源見通しの考え方 について ◆事務局より、資料3について説明 <u>質疑および意見</u> 蓮沼委員 下水道使用料はサービスの対価として払っているが、経費を賄えない部分については、 税金（繰入金）で補填している。非受益者の税金も下水道事業に使われている。公平性 を考える必要がある。 事務局 繰入金3億円の内、基準内繰入金が約1億円、基準外繰入金が約2億円である。受益者 負担が原則であり、使用料で経費を賄うべきだが不足している。その分を税金で賄うの

は不公平が生じているという問題がある。平成 28 年の料金改定の際にも、受益者負担の適正化として、繰入金の削減、経費回収率の改善の 2 つを大きいテーマとして行った。今回の経営戦略改定も特にその 2 つの大きいテーマに基づいて審議していく必要がある。

川嶋副会長 雨水は公費、汚水は受益者負担が原則であることは全国共通である。次回以降、このような説明をわかりやすくする必要がある。

事務局 繰出基準については、次回説明する。

松本委員 杉戸町は合流式が一部あるのか。他自治体や近隣自治体などの繰入金の状況がわかるとよいのではないか。

事務局 杉戸町は分流式下水道である。他自治体等の繰入金の状況は次回示す。

高野会長 資料 34 ページ (5) 収支改善のための投資財政計画において、料金改定シミュレーションが記載されており、85%、90%となっているが、100%のシミュレーションはしないのか。目標値として、参考として示すべきでは。

事務局 最終的な目標は 100%である。100%とすると料金が大幅に上がってしまい、現実的ではないため示さなかった。ただ、試算することは可能であるので次回示す。

蓮沼委員 経費回収率 100%を目指すのは良い考え方であるが、すべての町民が納得できるのが理想である。下水道区域外（浄化槽等）の人も税金を使って何かしらの事業を行っているはずである。

事務局 下水道区域外の人も税金から補助を受けているという新たな視点を頂いた。そういった視点も交えながら、あるべき受益者負担について審議を進めていきたい。

② 経営戦略改定・社会資本整備総合計画事後評価について

◆事務局より、資料 4 について説明

質疑および意見

川嶋副会長 資料 4、1 ページ計画の成果目標①にある進捗率 42.3%から 42.9%に増加させるといふ目標は、全体計画面積に対する整備済面積という認識でよろしいか。

事務局 ご指摘のとおり、定量的指標の定義及び算定式にある通り、整備済み面積を全体計画面積で割ったものである。

高野会長 事業費約 1.5 億円であり、補助金を除いて 1 億円の持ち出しだと思うが、投資の費用対効果は。

事務局 本整備はアグリパークの下水道接続のみである為、アグリパークでの使用水量がそのまま下水道使用料となる。費用対効果として示すのは難しい部分があるが、浄化槽設備から臭いが出たり、周辺水路に悪影響を及ぼしていたため、今回の整備は環境保全的な意味合いのある整備であると認識している。

審議結果

議事② 経営戦略改定・社会資本整備総合計画事後評価について

承認

杉戸町附属機関等の会議の公開要領第7の規定により署名する。

令和 7 年 11 月 12 日

署名委員

間中 健太郎

署名委員

新井 久孝